

第2章 目指す地域の姿

1 農業者の経営能力を生かした競争力の高い農業の実現

- (1) 認定農業者等の地域の担い手のほか法人の経営発展により、効率的かつ安定的な農業経営が拡大しています。
- (2) 法人化によって安定雇用が確保され、農業を志す者や県農業大学校等において農業教育を受けた学生などに対する就職就農の道が広がっています。
- (3) これまで農業を牽引してきた農業者に加え、若者、女性、高齢者、企業等の多様な人材や主体が活躍しています。

2 地域の特性に応じた、収益性が高く安定的な農業経営に立脚する、持続性の高い農業の実現

- (1) 基盤整備が行われ、大区画化が進んだほ場を中心に農地中間管理事業を活用して意欲ある担い手に集積された農地において、生産性が高い農業が行われています。
- (2) 農地の集積・集約化が進展して農業経営が効率化するとともに、こまつな、えだまめ等の地域を代表する野菜や、なし、ぶどう、キウイフルーツ等の特産果樹の生産により、農地の遊休化を防ぎ、耕地がフル活用されています。
- (3) 先端技術の農業への導入が広く進み、生産性の高い農業が展開されています。
- (4) 自然災害に備えた農業関連施設の強靱化、鳥獣害及び病虫害防止対策の進展、また、農業保険等の普及拡大による農業経営におけるセーフティネットが構築され、農業者が安心して生産活動を行っています。



地域を代表する野菜（こまつな）



大区画に整備したほ場

3 多面的機能が適切かつ十分に発揮される農業及び農山村の実現

- (1) 農地や農業水利施設を維持保全するための地域の共同活動が活発に行われ、洪水防止、水源涵養、景観形成等の機能が十分に発揮されています。
- (2) 農村のコミュニティが維持され、農業を体験する場の提供などにより、都市と農村の地域間交流が活発化し、文化の伝承、保健休養・やすらぎ等の機能が十分に発揮されています。



見沼代用水（原形保全区間）



地域住民による水路の泥上げ活動

4 需要に対応し、消費者に信頼される良質かつ安全な農産物を安定供給できる農業の実現

- (1) 水稲生産では、JAを通じた系統出荷のほか地域内の直売所やインショップなど、さまざまなチャネルを通じて販売されるほか、特別栽培などの栽培方法によりブランド化が図られた米の産地づくりが進んでいます。
- (2) 園芸生産では、飲食店や食品製造業が集積している地域の立地優位性を踏まえ、実需者の幅広いニーズに応えられる生産力が確保されています。
- (3) こまつなやさといも、花植木など全国的に評価の高い農産物など、地域の農産物を利用し、農商工連携や6次産業化による新たな加工品や地域特産物が創出されています。
- (4) 地元直売所、量販店の地場産コーナー、飲食店、学校給食を通じて県民に提供され、地産地消の取組が浸透しています。
- (5) GAPの取組の農業者への浸透を通じて、食品の品質や安全性に係る消費者からの信頼が一層向上しています。



彩り豊かなヨーロッパ野菜



地元客で賑わう直売所